

ネオテック株式会社

風通しがよく、全社員が自身の役割と責任を理解し、業績・改善活動が見える組織を目指す

①MVV浸透 ②マネジメント力強化 ③デジタル化・デジタルツール導入活用

塩尻市を拠点に、精密ねじ・ボルト・ナットなど締結部品を手がける専門メーカーです。冷間圧造・転造・切削を駆使した高精度なものづくりで、幅広い分野を支えています。「ねじを通じて、人・技術・社会をつなぐ」を経営の軸に、技術力と誠実さで顧客の信頼に応え、進化し続ける企業を目指しています。



課題

- ✓ 教育制度、業務に必要なスキル習得が属人的であり、社としての学習体制の整備が求められている
- ✓ 部署における目標設定および進捗管理が不十分・不明瞭であるため、目標への到達度合いやリカバリーの取り組み状況の見える化が必要である
- ✓ 部署間や部門内での報連相が不十分であり、情報共有の遅れや判断の属人化が発生し、問題発見や改善が後手に回ることがある

目標

- ✓ 人事評価制度を2027年4月末までに、教育制度を2027年9月末までに整備し、それらを運用していくことで人材を育成していく
- ✓ 2027年5月には全社員の個人目標までたてられる組織にし、フォロー・リカバリーまでできる体制を構築する
- ✓ 2026年4月から随時「データの見える化」を行い、現状の問題点を把握し、2027年3月までに適時にリカバリーできる体制を構築する

人材育成計画

- ① 人事評価制度および教育制度を再設計し、人材を継続的に育成する**
 - 社員のやる気やモチベーション向上のため、人事評価制度の再設計および社員への説明機会を設ける
 - 組織の業績向上に向け、必要となる個人のスキルセットを定義する
 - 上記スキルセットを身に付けるために必要な研修を職員が柔軟なタイミングで受講・習得できる教育制度を確立する
- ② 会社全体の目標に基づく部署目標、個人目標を設定し、進捗状況管理およびリカバリーが可能な体制を構築する**
 - 組織の目標を皆が理解し、それに基づき各部署・各個人における目標が設定される仕組みを構築する
 - 目標設定においては、個人の業務および会社全体への改善提案が促される形となるようにする
 - 目標を設定するのみではなく、その後の進捗管理、リカバリーまで適時に行える体制を整備する
- ③ 「データの見える化」により、現状の問題点を把握し、改善につなげる**
 - 役職者による部門目標に対する進捗管理会議を月1回実施のうえで、目標に未達である場合にはリカバリー案を議論する会議構成とする
→当会議においては、可能な限り「数字」での報告、リカバリー案の効果検討を行うことで効果的な目標管理・リカバリーに寄与する
 - 担当者の業務報告/連絡/相談が行いやすく、部門目標の到達度合いも可視化された状態を目指し、サイボウズ等デジタルツール活用を検討する

計画実行に向けて

長野県リスキリング推進事業の伴走支援を通じて、人事評価・教育制度の整備、目標管理と進捗の見える化を柱に人材育成計画を策定しました。外部専門家との連携で経営課題の優先順位が明確になり、2026年度を「仕組みづくりの年」と位置づけ、全社員が自律的に動ける組織を目指してまいります。